



この頃気づいたこと。『NEWS』は北東西南からとばかり思っていました。最近、「そうだ、Newの複数(S)もありだな!」と思う様になりました。こちらが正解? (鈴木強さんの独り言)
→ 同窓会の新しいこと、たくさん伝えていきたいです。(広報部員)

水富地区会活動報告

● フランクフルト、缶ビールの屋台出店

たった4人で 頑張りました!!

完売!!



ソーセージの焼ける匂いに誘われてたくさんの人が足を止めます。1時間ほどでフランクフルトソーセージ100本が売り切れです。

10月1日(日)、朝7時頃まで降っていた雨もようやく止み、『第2回水富祭ウォーキングフェスティバル』が開催されました。昨年に続き、さやま楽友会「水富地区会」も有志により屋台を出店しました。缶ビール(本麒麟)をはじめ、飲み物と焼きフランクフルトの販売です。本麒麟1本200円、ペットボトル類1本100円、コーラ1缶50円、フランクフルト1本100円というメニュー。日差しが無かったので



思わず笑顔 完売のVサイン

飲み物の売れ行きはイマイチでしたが、フランクフルトは大好評! 2本、3本と注文が入り、あっという間の完売でした。

今回は事前打ち合わせの遅れもあり、予定が合わない有志も多かったため、保健所への申請、食材の買い出し、下茹でなどの準備から、当日の販売までを4人で行いました。そんなちょっと寂しい思いの中、屋台に楽友会のメンバーが顔を見せてくれた時には涙が出るほど嬉しく、心強く思えました。店番をしながら、仲間の帰る後ろ姿をじっと見送ったものでした。

満員御礼!

群馬方面バスツアー参加44名に

今月17日に申し込み締め切りだった群馬方面へのバスツアーですが、皆様のご協力のお陰で募集人員40名の所、バスの定員(補助席無し)となる44名の申し込みがありました。有り難うございました。企画運営委員一同、何とか最少催行人数の30名は集め久々の楽友会統一企画を実施したいと思っていたのですが、予想以上の反応に喜びを隠しきれません。12月ということで少し寒くなる時期ではありますが、仲間の絆を深め、心ゆくまで楽しんで来たいと思います。参加の皆様、当日までの体調管理、宜しく願いいたします。

入曽地区 地区別スマホ出前講座

追加募集!

11月9日、16日(木) 15:30~17:30、入曽地域交流センターで行われる予定の地区別スマホ出前講座ですが、まだ空きがあります。受講ご希望の方は、**直接デジタル仲間の会代表の岸田(☎080-1053-0705)までご連絡ください。**

また、11月29日、12月6日(水) 9:30~11:30、狭山元気プラザで予定の狭山台地区のスマホ出前講座は11月1日に狭山台地区の皆様にご案内メールを差し上げますのでふるってご参加ください。

詐欺師はあなたを狙っている!



10月21日(土)、超満員の狭山市市民交流センターコミュニティホールで「狭山市犯罪被害者等支援条例制定記念講演会」が行われました。楽友会会長の黒川さんが挨拶で自身の被害者遺族としての経験を話し、オリーブの活動にエールを送りました。

第1部ではテレビでお馴染みの犯罪ジャーナリスト・佐々木成三氏が「財産と命を守る防犯対策」と題して講演しました。選んだトランプを当てるトリックから話が始まり、年末になると増える詐欺の種類、今年一番多いという架空料金詐欺の話など、最新情報満載です。詐欺にあった人は、自分が騙されないと思っている人80%、詐欺の手口を知っていた人90%だそうです。騙されないためには「攻める防犯」だそうで、迷惑電話防止機能付き電話や大声の出る防犯カメラなど、この家は防犯対策が出来ていると思わせる事が大事だそうです。直感ならぬ「直観力」の大切さ、先入観の怖さ、自分の知識を常に最新の情報に更新する必要性など、具体例を挙げて分かり易く説明していただきました。楽友会の皆さんにも是非聞いていただきたい話でした。最後に犯罪被害に遭われた方には周りの途切れないサポートが必要な事、被害者家族だって笑って良いという話で講演は締めくくられました。

第2部では埼玉県警察音楽クラブ「K音」の演奏。いきものがかりの「ありがとう」を初め「いとしのエリー」や「糸」など、皆さんお馴染みの曲で会場内が一気に盛り上がります。久しぶりの生演奏に会場の皆さんも体でリズムを刻みます。若い警察官の方々の演奏で、すっかり気分が若返りました。



● 笑顔（夏の思い出） ●

この季節の日の出は早い。早朝の4時30分、私と妻は散歩を開始した。散歩の開始時間と距離はその日の天候と体調によって、初級の5キロ、中級の10キロ、上級の15キロを決めている。今朝の中級コースを歩いている時の出来事である。収穫した夏野菜の籠を抱えた婦人とすれ違った。私達夫婦は「おはようございます」の挨拶をした。すれ違った直後に呼び止められ、「なんでも良いですから持っていきませんか。両手に持てば二人で4つは持てますよ」。ふいであったが、妻はニッコリすると「いただきます」と言って朝採れの新鮮なナスを手にとった。私も続いた。丸々太った大きなナスを一つずつ両手に持って散歩は続く。「ナス泥棒と思われぬかなあ」と私は冗談を言った。籠の中には採れたてのトマト、キュウリ、ゴーヤもあったけど、とっさに妻は重たくなって持ちやすいナスを選んでくれた。その気配りと優しさを改めて感じ取り、嬉しくなった。何よりも妻の笑顔が印象的であった。笑顔に出会って怒る人はいない。以前、混雑する駅前のスーパーでのことだ。カートがすれ違いざまに、右に左によけながらお互いに2・3度繰り返した。私はいらいらした。そのとき相手の人がニコッと笑顔で、「よく気が合いますね」。凄い人だ。やられた自分が恥ずかしい。「お互いにね」と私も咄嗟に言うことが出来て面目躍如。良いことがありそうな日の始まりである。茄子紺（ナスこん）が朝日にひかっていた。

（中嶋亨さん）